

# 雑誌を発見してもらい、それを維持する

OJS 雑誌の読者を増やし、コンテンツを保存する方法

オープン・ジャーナル・システムはPublic Knowledge プロジェクトの研究開発イニシアティブの1つです。現在、ブリティッシュ・コロンビア大学、サイモン・フレーザー大学図書館、カナダ出版研究センターの協力により管理され、開発が続けられています。

詳しくは、Public Knowledge プロジェクトの Web サイトをご覧ください。

<http://pkp.sfu.ca>

本資料は、クリエイティブ・コモンズの帰属-非営利-派生禁止ライセンスの下にライセンスされています。本ライセンスのコピーを閲覧するには、<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/2.0/ca/>にアクセスするか、以下にお問い合わせください。

Creative Commons,  
559 Nathan Abbott Way,  
Stanford, California 94305, USA.

はじめに	5
発見してもらおう：あなたの雑誌の知名度を高める	6
商用インデックス	6
商用インデックスとは何か	6
採録してもらおう方法	7
オープンデータベース	8
オープンデータベースとは何か	8
オープンインデックス	9
採録してもらおう方法	9
ディレクトリ	10
採録してもらおう方法	11
サーチエンジン	11
採録してもらおう方法	12
オープンアーカイブメタデータハーベスタ	13
採録してもらおう方法	14
図書館	14
メディア	16
プレスリリースの書き方	16
プレスリリースの配布法	17
専門家のネットワーク	17
専門家の認知	18
新雑誌の課題	18
インパクトの測定	19
雑誌に関する標準と識別子	21
国際標準逐次刊行物番号	21
デジタルオブジェクト識別子	21
維持する：信頼できる継続的なコンテンツを構築する	23
正しいサーバの発見	23
LOCKSS (Lots of Copies Keeps Stuff Safe)	25
結論	27
参考文献	28
付録 A: インデックス採録の基準	29

商用インデックス.....	29
オープンインデックス.....	30
オープンディレクトリ.....	30
サーチエンジン.....	31
オープンアーカイブハーベスタ.....	31
付録 B: プレスリリース例.....	32

## はじめに

---

雑誌の出版は、単に紙にインクを落とす（あるいは、画面にピクセルを置く）だけのことではありません。あなたとあなたの読者との共同作業です。この関係には二つの重要な側面があります。第1は、あなたの雑誌を想定読者の目に触れさせることです。雑誌のコンテンツをオンライン上に置き、オープンアクセスで自由に利用できるようにすれば、世界中の何百万人もの人々にあなたの雑誌を届けることとなります。しかし、あなたの雑誌がそこにあることを知らなければ、人々があなたの学術コミュニティに参加するようになることはありません。

第2に、雑誌のコンテンツをしかるべき場所に置き、熱心な読者を獲得できたら、あなたは次に、あなたの雑誌が24時間年中無休で常に確実に利用できるようにしたいと思うようになります。紙の出版物とは異なり、電子ジャーナルは、一時的にも恒久的にも、容易に消滅する可能性があります。信頼できないサーバ環境によるサービスの定期的な休止や、さらにひどい場合は、バックアップや保存処置を何もしていないとコンテンツが完全に消滅してしまい、あなたの雑誌に対する読者の信頼を台無しにする、あるいは、あなたとあなたの協力者が共同で行った作業のすべてを完全に消滅させる可能性があります。

しかし、心配はいりません。この小冊子は、あなたの雑誌の「発見可能性」を増し、幅広い読者を得るいくつかの簡単な方法を簡単に説明します。また、あなたの雑誌の価値あるコンテンツへの信頼できる継続的なアクセスを保証する方法も合わせて説明します。

## 発見してもらう：あなたの雑誌の知名度を高める

---

あなたの雑誌の成功は、あなたの雑誌の学術コミュニティに参加し、論文にあなたの雑誌のコンテンツを引用し、あなたの雑誌の価値を他の研究者に伝えてくれる常連読者を増加させることにかかっています。しかし、これを行うには、まず初めに彼らがあなたの雑誌を発見できなければなりません。この節では、商用インデックス、オープンデータベース、図書館、メディア、専門家のネットワーク、専門家による認知を利用した、あなたの雑誌の「発見可能性」を増加させる様々な方法を検討します。

### 商用インデックス

#### 商用インデックスとは何か

商用インデックスとは、中央の検索可能なデータベースにより維持されている雑誌の引用情報（著者名や論文タイトル、雑誌名、巻号数、要旨など、いわゆる「メタデータ」として知られているもの）のコレクションです。商用のサービスとし、これらのインデックスは購読料を支払った者しか利用できず、通常、読者は所属の図書館を介してアクセスしています。学術図書館の予算のかなりの部分は、所属の教官や学生がこれらの商品を自由に利用できるようにするために使われています。最も影響力のあるインデックスの1つがThomson ScientificのWeb of Science (<http://scientific.thomson.com/products/wos/>) です。

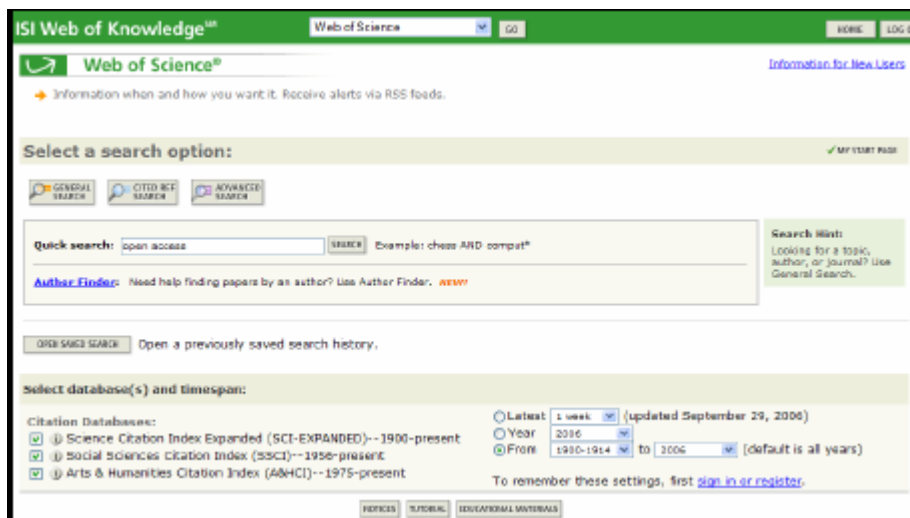


図 1: Web of Science

心理学を対象とした *PsycInfo* (<http://www.apa.org/psycinfo/>) のように1つの学問分野に焦点を絞っているインデックスもあれば、Elsevierの *Scopus* (<http://www.scopus.com/>) のように多くの学問分野を対象にしているインデックスもあります。何百もの雑誌の情報を集めたインデックスもあれば、数誌のメタデータを持っているだけのインデックスもあります。学会や非営利団体により作成されているインデックスもあれば、営利企業により作成されているインデックスもあります。通常、読者があなたの雑誌のコンテンツを探す最も重要な方法は、商用インデックスです。したがって、これらのインデックスに採録してもらうことがあなたの雑誌の成功にとって重要です。

## 採録してもらう方法

これらの強力な研究ツールを利用して、「信頼できる高品質な情報源であると認識してもらう」（「あなたの雑誌をインデックスしてもらう」、出版年不明）ためには、あなたの雑誌の引用メタデータを、対象となる学問分野における最も適切なインデックスに採録してもらう必要があります。各インデックスは独自の採録基準を持っているでしょうが、一般には次のような基準があります。

- 高品質なコンテンツ
- ピアレビューされている

- 対象となる主題のコンテンツ(単一の学問分野を対象としたインデックスの場合)
- 名の知れた編集委員会
- 安定した出版実績

いくつかの最も重要な商用インデックスの採録基準については、付録 A のリンクを参照してください。

新雑誌にとっては、安定した出版実績を示すことは不可能であり、定評のある商用インデックスの多くに採録してもらうことが創刊後数年間の努力目標となるでしょう。次の節では、あなたの雑誌が専門家による認知を得るまでに利用できるその他の方法について検討します。

## オープンデータベース

### オープンデータベースとは何か

オープンデータベースとは、商用インデックスと同じように、引用メタデータを 1 つの検索可能なデータベースやリストに集約するものです。オープンデータベースの主な種類には、オープンインデックス、ディレクトリ、サーチエンジン、オープンアーカイブメタデータハブがあります。オープンデータベースの本質的な利点は、個人読者と図書館とを問わずインターネット上で誰でも自由に利用できることにあります。

また、多くのオープンデータベースは、出版済み資料のアーカイブ量よりコンテンツの質やオープンアクセスポリシーに重きを置いており、新しい雑誌のコンテンツの採録に対して積極的です。さらに、オープンデータベースへのコンテンツの採録は、一般的により迅速に行われます。

オープンデータベースは研究者にとってますます重要になってきています。いくつかの商用インデックスが持つような名声や影響力はまだ持っていませんが、オープンデータベースに採録されることは、より幅広い読者層を持つことによりあなたの雑誌の注目度を大きく上げることになるでしょう。



## オープンインデックス

PubMed Central (<http://www.pubmedcentral.nih.gov/>) は、最もよく知られた評判の高いオープンインデックスです。PubMed Centralは、商用インデックスと同じように、様々な雑誌（もちろん、すべて医学分野の雑誌）からメタデータを収集し、1つの検索可能なデータベースにしています。

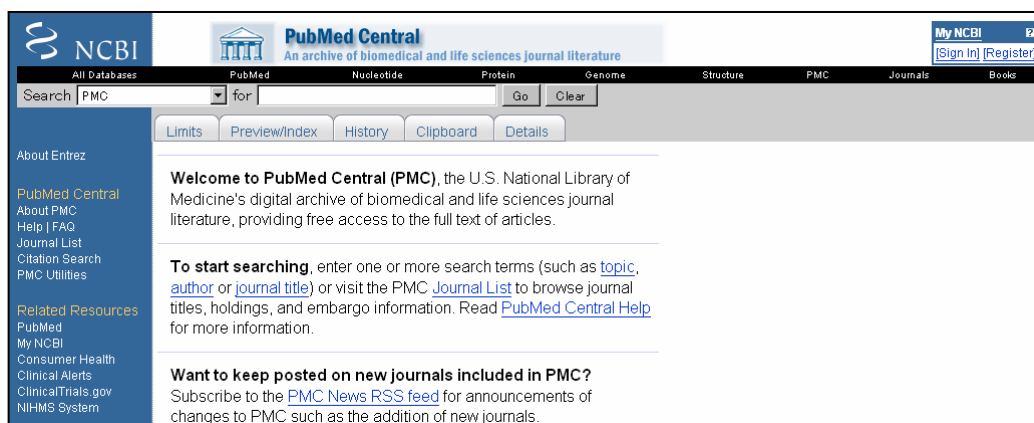


図 2: PubMed Central

商用インデックスとの主な違いは、オープンインデックスは通常、公的資金で運営されており、自由に利用できることです。OJSによる医学雑誌も、もちろんPubMed Centralに採録されるようにするべきです。これを容易にするために、雑誌の全メタデータをPubMedへ直接提供するのにふさわしいファイル形式で作成するエクスポートツールをOJSは持っています。BioMed CentralやChemistry Centralのように、自らが出版したコンテンツだけを採録しているオープンインデックスもあります。この場合、BioMed CentralやChemistry Centralで出版されていない雑誌は採録の対象となりません。その他のオープンインデックスの例としては、米国国立農学図書館のAgricola(<http://agricola.nal.usda.gov/>)や米国教育省教育科学研究所によりスポンサードされているERIC(<http://www.eric.ed.gov/>)があります。

## 採録してもらう方法

商用インデックス同様、オープンインデックスも高品質なコンテンツ、ピアレビュー、対象となる主題のコンテンツ、安定性と持続性の保証を求めています。しかし、確立された出版実績を持たない新しい雑誌の投稿を喜んで受け入れる

ものもあります。あなたの雑誌に最もふさわしいオープンインデックスが何であるかがわからない場合は、所属の図書館に聞いてみてください。あなたを適当な方向に導いてくれるでしょう。オープンインデックスの採録基準の例については付録 A を参照してください。

## ディレクトリ

ディレクトリは、主として、個人や団体により主題分野別にまとめられ、インターネット上で自由に利用できるリストです。通常、ディレクトリは論文レベルの検索機能を提供しておらず、単にブラウズするものです。商用インデックスやオープンインデックス同様、ディレクトリは図書館には評判が高いものです。読者を適当なコンテンツに導く非常に便利なツールだからです。オープンディレクトリの例としては、Directory of Open Access Journals (<http://www.doaj.org/>)、NewJour (<http://gort.ucsd.edu/newjour/>)、Librarians Index to the Internet (<http://lii.org/>)、Open Directory Project (<http://dmoz.org/>) があります。



図 3: DOAJ

Yahoo! (<http://dir.yahoo.com/>) は、インターネットディレクトリの元祖の 1 つでしたが、次第にサーチエンジンの方向にシフトしてきています(次節参照)。

ただし、今でもディレクトリであり続けています。

## 採録してもらう方法

ディレクトリの主催者にあなたの雑誌を追加してもらうよう連絡を取ってください。採録の基準は、商用インデックスやオープンインデックスと同じでしょうが、いくらか要求は少なく、採録は早いでしょう。ディレクトリは、読者と図書館の新しい雑誌に対する注目度を上げるすばらしい方法です。

所属の図書館に連絡を取って、図書館が作成しているリストにあなたの雑誌を追加してもらってください。また、あなたの雑誌にふさわしいその他のディレクトリを見つけてもらってください。付録Aに、いくつかの重要なディレクトリの採録基準を示しました。

## サーチエンジン

サーチエンジンとは、World Wide Web上の情報を発見するためのツールです。「スパイダー」という名で知られている「Web」を「クロール」するプログラムを使用することにより、サーチエンジンは様々なWebサイトのフルテキストから記述メタデータやキーワードを収集し、大規模で検索可能でインデックスを構築します。Google (<http://www.google.com/>) のようにWeb全体をカバーしようと試みているサーチエンジンもあれば、特定の種類のコンテンツを対象を絞っているサーチエンジンもあります。例えば、Scirus (<http://www.scirus.com/>) は自然科学系のWebサイトのみを索引化し、Google Scholar (<http://scholar.google.com/>) は学術情報だけをカバーしています。MicrosoftのLive Academic (<http://academic.live.com/>) も同様なサービスを提供しています。所属の図書館に聞けば、あなたの雑誌に最もふさわしいサーチエンジンを教えてもらえるでしょう。



図 4: Google Scholar

先に示したツールほど洗練されておらず、対象も絞られていませんが、サーチエンジンは、学生だけでなく多くの研究者にとっても、研究ツールとして第一の選択肢となってきています。多くのサーチエンジンに効果的に採録してもらうことは、あなたの読者を広げることに貢献するでしょう。

### 採録してもらう方法

あなたの雑誌にとっての重要な課題は、雑誌サイトが主要なサーチエンジンにより確実に「クロール」されて索引化されることであり、収集された索引語により人々をあなたの雑誌のコンテンツに確実に結びつけるようにすることです。多くのサーチエンジンは、ほとんどすべての検索において何百何千もの結果を返すので、あなたの雑誌が結果リストのできるだけ上位に表示されることをあなたは望むこととなります。検索した人が上位 10 位以外の結果を見ることはほとんどありません。したがって、あなたの雑誌のランキングを改善することは非常に重要です。各サーチエンジンは適合度ランキングを作成する独自のシステムを持っています。例えば、Google Scholarは、「各論文のフルテキスト、著者、論文が掲載された出版物、各論文の他の学術論文での引用回数などを評価することにより、研究者が通常行っている方法で論文をソートすることを目指しています」（「学術出版者のサポート」、2006）。様々なサーチエンジンにおいてあなたの雑誌のランキングを改善するための忠告をするとすれば、metaタグの正しい使用、キーワードの位置、あなたの雑誌サイト情報のサーチエンジンインデックスへの積極的な提供が重要です。これらのヒントやその他の有益な情報はSearch Engine Watchサイト (<http://searchenginewatch.com/webmasters/>) で入手できます。特定のサーチエンジンに採録してもらうためのヒントとなる情報も利用できます。例えば、GoogleのWebmaster Central

(<http://www.google.com/webmasters/>) や学術出版者向けのサポートページ (<http://scholar.google.com/intl/en/scholar/publishers.html>) などです。

## オープンアーカイブメタデータハーベスタ

名前が表しているように、オープンアーカイブメタデータハーベスタは自由に利用できるメタデータを収集し、1つの検索可能なオープンデータベースとして集約しているツールです。通常、ハーベスタは大学や大学図書館により運営されており、一般に機関リポジトリ<sup>1</sup>や関係する雑誌のメタデータを収集しています。その例としては、ミシガン大学のOAster (<http://oaister.umd.umich.edu/>) やカナダ研究図書館連合のハーベスタ (<http://carl-abrc-oai.lib.sfu.ca/>)、PKPハーベスタ (<http://pkp.sfu.ca/harvester2>) があります。

図 5: OAster

ハーベスタは高品質な研究資料のオープンな情報源として研究者にとって有用です。

---

<sup>1</sup> 機関リポジトリ (IR) とは、機関のオンライン研究成果を収集・保存するためのオンラインデータベースです。DSpace (<http://dspace.org>) はオープンソースのIRソフトウェアで、MIT (<https://dspace.mit.edu/>) やその他多くの研究機関で使用されています。

## 採録してもらう方法

これらのツールに採録してもらう最も簡単な方法は、あなたの雑誌のメタデータをPKPハーベスタに提供することです。この機能はOJSソフトウェアに組み込まれています（“OJS in an Hour” – <http://pkp.sfu.ca/files/OJSinHour.pdf> の47ページを参照。または、その翻訳版「1時間でわかるOJS」の43ページを参照）。所属の図書館に連絡を取って、その地域のイニシアティブに参加できるような機会がないか探してみてください。

## 図書館

図書館の基本的な目的の1つは、読者を高品質なコンテンツに導くことです。雑誌出版者として、所属の図書館との関係を深め、あなたの価値ある雑誌について知ってもらい、コレクションに加えてもらい、利用者に宣伝をしてもらいたいとあなたは思うでしょう。

従来の出版環境では、図書館は、雑誌を購読し、物理的な各号をコレクションに追加します。読者は、図書館を訪れ、雑誌書架をブラウジングし、利用できる雑誌から選択します。利用できる電子ジャーナルが文字通り何千もあるオンライン環境では、挑戦すべき課題の1つは、あなたの雑誌を認知させ、図書館の「仮想」コレクションに加えてもらうことです。仮想コレクションは、通常、図書館のオンライン目録や電子ジャーナルデータベース（例えば、サイモン・フレーザー大学図書館の電子ジャーナルデータベース：<http://cufts2.lib.sfu.ca/CJDB/BVAS/>）を通じて利用できるようになっています。

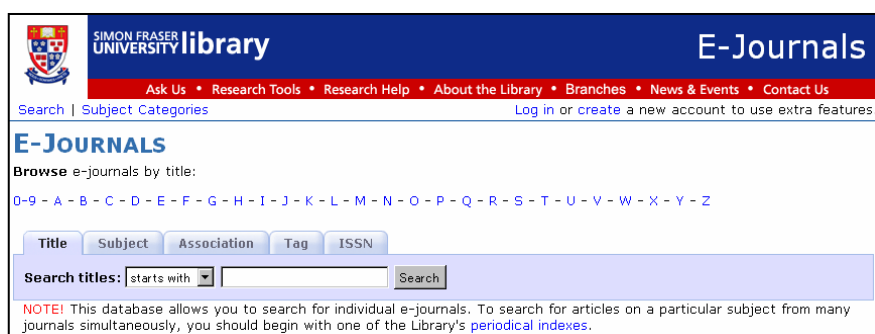


図 6: 電子ジャーナルデータベース

オンライン目録や雑誌データベースは、読者の研究にふさわしいコンテンツのブラウズや検索を可能にし、また、授業案内のWebページや、WebCT (<http://www.webct.com/>) やMoodle (<http://moodle.org/>) などのコース管理システムに（あなたの雑誌やその論文への）直リンクを張ることを可能にします。

あなたの雑誌を図書館の仮想コレクションに入れてもらう最も簡単な方法は、直接図書館に連絡を取り、あなたの雑誌について説明し、届けたいと考えている読者を伝えることです。図書館は共同作業の受け入れに積極的であり、あなたの依頼やあなたが提供する情報を歓迎するでしょう。あなたの雑誌を多くの図書館のコレクションに確実に入れてもらうもう1つの方法は、先に示したオープンディレクトリなどのより大きな雑誌関連のプロジェクトに参加することです。例えば、ほとんどの図書館はDOAJへのリンクを提供していますが、DOAJは、ダウンロードして自身のWebサイトで再利用できるタイトルリストを図書館に提供しています。地域のメタデータベースハーベスティングイニシアティブ（カナダのSynergiesプロジェクト：<http://www.synergies.umontreal.ca> など）や機関リポジトリ、ディレクトリプロジェクトへの参加も、あなたの雑誌を図書館の仮想コレクションの1つとして認識してもらうための一助となるでしょう。

The image shows the Synergies search interface. At the top, there is a green header with the 'synergies' logo and a list of partner universities: Université de Montréal, University of Calgary, University of New Brunswick, Simon Fraser University, and University of Toronto. Below the header is a navigation bar with links for Search, Browse, News, Partners, and About Us. The main content area is a search form titled 'Search' with a question mark icon. It includes a 'Full Text' search input field, a 'Journals' dropdown menu (currently showing 'All journals' and a list of journal titles), and fields for 'Title', 'Author', and 'Year' (with 'From' and 'to' sub-inputs). A 'Sort' dropdown is set to 'Relevance'. At the bottom of the form are 'Clear' and 'Search' buttons.

図 7: Synergies

所属する図書館と共同作業をするもう一つの理由は、あなたの雑誌をより広く届けるために必要となる情報にアクセスするためです。この小冊子ではこれまでに、インデックスやディレクトリ、リポジトリ、ハーベスタ、その他想定する読者があなたの雑誌をより容易に見つけられるようにするツールやサービスを発見するために図書館が支援できることを説明しています。

## メディア

メディアと連絡を取ることは、あなたの雑誌を宣伝してもらうもう一つの重要な方法です。プレスリリースとは、「報道価値があると考え何かを発表するために報道機関に向けた文書化または記録されたコミュニケーション」（「ニュースリリース」、2006）です。メディアが再利用できる形式で、効果的かつ専門的なプレスリリースを作成すれば、メディアがあなたのメッセージを理解する助けとなります。

### プレスリリースの書き方

効果的なものにするために、プレスリリースは、簡潔で論点の明確なものにするべきです。大多数のプレスリリースは、2、3行の短い文からなる段落を4つか5つ持つ500語程度の文書です。基本的な情報（誰が、何を、どこで、いつ、何故）はすべて、最初の段落に入れるべきです。また、以下のような確立された形式に従う必要があります。

1. 文書の最初に左詰めで、すべて大文字で“FOR IMMEDIATE RELEASE”と書きます。この行に続けて、リリースに関する連絡先（名前、身分、住所、電話番号、メールアドレス）を記入します。雑誌にロゴがある場合は、レターヘッドとして使用します。
2. 見出しを作成し、プレスリリース本文の真上に太字体で置きます。通常、見出しでは、プレスリリースの中で最も重要な事実を強調します。
3. プレスリリース本体の最初の行には、リリースが作成された都市名と日付からなる日付欄を置きます（例えば、VANCOUVER, BC — December 31, 2006）。
4. 段落にインデントを行わないブロックスタイルを使用します。
5. 最後の段落は、“for additional information”行で終わらせ、さらなる情報を得るための場所を示します。これにふさわしい情報源は、もちろんあなたの雑誌のWebサイトです。



- 最後に、リリースの終わりを示すために、ページ下部の中央に“###” あるいは“-30-” というマークを置きます。

プレスリリースの例は、付録 B を参照してください。

## プレスリリースの配布法

プレスリリースを最も効果的に配布するために、あなたのメッセージに最もふさわしいメディアを対象としたいと考えるでしょう。例えば、雑誌の創刊を発表するプレスリリースは、関連する専門出版物や学術出版物には歓迎されるでしょうが、マスメディア（テレビやラジオ、雑誌、新聞）にはおそらく無視されるでしょう。しかし、大きな新発見や一般的な興味を惹くような研究成果を発表する場合は、マスメディアも興味を持つかもしれません。プレスリリースの対象を絞ることは、プレスリリースの配布を成功させる鍵です。ここでも、あなたのプレスリリースの対象となるすべての潜在的メディアを見つけるために所属の図書館を利用すべきです。

## 専門家のネットワーク

あなたの雑誌を人々に伝える正式な方法に加えて、雑誌をみんなに知らせるもっと形式張らない方法も存在します。この中には当然、雑誌について人々に直接話すということが含まれるべきです。専門家の会合であれ、会議やその他の行事であれ、あなたが参加するすべての機会を利用すべきです。メールシグネチャに雑誌の Web サイトのアドレスを追加するなど、雑誌を売り込む簡単な方法を見逃してはいけません。これにより、あなたが送るすべてのメールを、あなたの雑誌を宣伝する機会に変えることになるのです。

あなたの雑誌に関する情報を伝えるその他の方法として、その専門分野にふさわしい専門家のメーリングリストやブログを利用する方法があります。

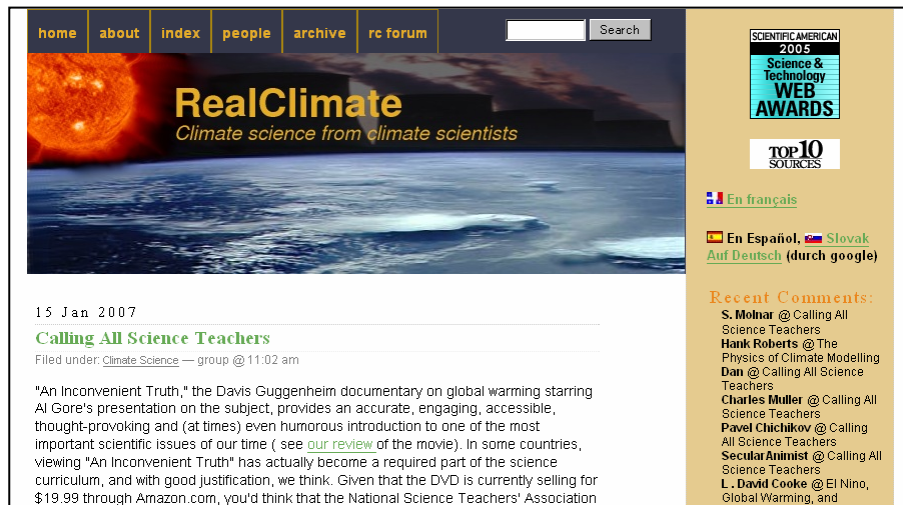


図 8: RealClimate 自然科学分野のブログ

これらの電子的な情報ネットワークは、インターネット上で幅広い人気を得るようになっており、学術コミュニケーションにも組み込まれるようになってきています。

## 専門家の認知

成功している学術雑誌はすべて、専門家の認知というゆるぎない基礎に基づいています。専門分野の研究者に認知され、尊重されるようになれば、あなたの雑誌への参加（読者、著者、査読者、編集者、理事）が助長されます。これは、テニユアの取得やキャリアの構築に向けた貴重な時間や努力を浪費するかもしれないという研究者の恐れを軽減することになり、雑誌へ参加することに対する抵抗感を払拭することになります。専門家による認知は、あなたの雑誌をインデックスサービスやデータベースサービスが採録したり、図書館が喜んで宣伝したりするための信頼を構築することにもなります。

## 新雑誌の課題

専門家の認知を得ることはどんな場合も難しいものですが、示すべき高品質なコンテンツの蓄積を持たない新雑誌にとっては、特に困難なものになるでしょう。しかし、このプロセスを助けるために最初に行うべき重要な作業がいくつか存在します。

第1に、雑誌のWebサイトと論文のレイアウトは専門的なものにしなければなりません。Webベースのインターフェースは極めて洗練されたものになってきています。正確であろうとなかろうと、素人によるデザインは雑誌も素人仕事であると見なされる結果になってしまいます。オープン・ジャーナル・システムは、あなたの雑誌に強力なテンプレートを提供します。しかし、新鮮でユニークな外観を提供するプロのグラフィックデザイナーの協力を得ることは、尊重と認知を得るための非常に重要なステップになるでしょう。第2に、必ず、専門家により管理されている安全なサーバで雑誌を運用するようにしてください。あなたの雑誌は、オンラインでいつでも利用でき、稼働率は少なくとも99.9%以上でなければなりません。システムダウンがたびたび起これば素人仕事だと思われれます。本小冊子では、既にサーバについては言及しました。保存に関しては次の節で取り上げます。第3に、有名な研究者に編集委員会の委員や著者として参加するよう働きかけてください。そして、これらの研究者の参加が外部からわかるようにしてください。第4に、OJSの持つ査読システムを利用することにより、あなたの雑誌が、高品質なコンテンツを保證する確立されたガイドラインに従っていることを読者に知らせてください。第5に、雑誌のコンテンツをオープンアクセスで提供することにより、はるかに幅広い読者があなたの雑誌の価値を自由に一刻も早く見られるようにしてください。

いったん雑誌の出版を開始したら、出版スケジュールを確実に維持することがきわめて重要です。あなたの雑誌が季刊であるとしたら、たとえ各号の論文の数が少なくなったとしても、必ず1年に4号出版しなければなりません。刊行数の不足は何であれ、プロ意識の欠如とみなされます。季刊を維持する自信がない場合は、年2回発行、場合によっては年刊の雑誌で始めてください。

当たり前だと思うでしょうが、あなたの雑誌には最も高品質な投稿論文だけを採用すべきであることを覚えておくことが重要です。これも各号に掲載する論文の数が少なくなることを意味するかもしれませんが、高品質な学術情報の生産と共有があなたの雑誌の肝です。

## インパクトの測定

専門家の認知を得るもう一つの方法は、あなたの雑誌の利用度やインパクトを測定する様々な技法の利用です。これは、雑誌の成功を示す明らかな証拠となり、雑誌の成長を定期的に評価することも可能にします。

従来の購読モデルでは、通常、購読者数が個々の雑誌の利用度を理解する基礎となっていました。オープンアクセスジャーナルは、示すべき基礎購読者数を持っていないので、これは問題となります。しかし、OJS では読者に登録を求めるといった選択肢を提供しています。この登録には必ずしも購読料は必要とせず、雑誌がその読者をより良く理解することを可能にします。OJS の雑誌管理者は、登録ユーザ数の報告など、いくつかの統計分析や報告書を利用することができます。

利用度を測定するもう一つの方法は、Web ログの解析です。Web ログは雑誌を管理しているサーバにより出力される記録であり、あなたの雑誌がアクセスされた回数がカウントされています。読者の所在地などの詳細な情報も知ることができます。Web ログからは、ユーザがサイトを 10 秒ほど手短にアクセスしたのか、1 時間以上もずっと閲覧していたのかは判断することはできませんが、利用についておおよその理解をすることができます。また、以前の月や年との比較を行うことができ、雑誌のインパクトを評価するためのデータを提供することもできます。

何人の人があなたの雑誌をアクセスしているかという疑問より重要なものは、おそらく、読者が雑誌をどのように利用しているかという疑問です。これは、雑誌の「インパクト」の測定として知られています。高い引用インパクトを持つ雑誌は、その分野において最も重視され成功している学術雑誌です。引用インパクトは、ある論文、著者、雑誌が、他の研究者により何回引用されたかを示すものです（「引用インパクト」、2006）。これは、ある雑誌の学術コミュニティにおける価値を測定する方法として異論のないものではありませんが、ほとんどの研究者がそのように認識し、それに基づいて研究を進めている標準的な方法です。信頼できる情報を探している読者は、通常、まず初めに高い引用インパクトを持つ雑誌を見ることとなります。読者、査読者、編集者として期待される研究者は、高い引用インパクトを持つ雑誌に時間を提供したいと考えます。インデックスサービスやデータベースも、高い引用インパクトを持つ雑誌を情報源として持ちたいと考えます。従って、これらすべては、円環的なパターンを導くこととなります。すなわち、インパクトの高い雑誌はより多く利用され、支持されると思われるので、ますます認知度が高くなり、インパクトも高くなります。すべての新雑誌にとっての目標は、先の節で説明した方法を使って、このプロセスを開始させることです。

OJS やその他のオープンアクセスジャーナルにとって特に興味深いのは、オー

オープンアクセスポリシーが雑誌の引用インパクトを増加させる傾向にあることを明らかにしたいいくつかの研究の結果です（「オープンアクセスに関する実験的研究の文献一覧」、2006）。雑誌コンテンツに自由に迅速なアクセスを提供することにより、オープンアクセスジャーナルは次第に研究者が研究成果を発表する場として第一の選択肢となってきました。

## 雑誌に関する標準と識別子

### 国際標準逐次刊行物番号（ISSN）

人々があなたの雑誌を発見することを、また、図書館があなたの雑誌を管理し宣伝することを助けるもう一つの方法は、国際標準逐次刊行物番号、すなわち、ISSNを得ることです。ISSNは、8桁の数字からなる「その出版国、言語や文字、出版頻度、媒体などとは独立に、電子版を含む任意の逐次刊行物を識別する標準化された国際コード」（「国際標準逐次刊行物番号」、2006）です。ISSNは、図書館や引用インデックス、出版業界で雑誌を一意に識別するために広く使用されており、逐次刊行物の管理においては、通常、雑誌タイトルより重要なものです。すべての逐次刊行される雑誌はISSNを持つことができます。ISSNは、各国のISSNセンター（<http://www.issn.org/en/flexinode/table/1>）から無料で得ることができます。“1544-9173”がISSNの例で、これは雑誌*Public Library of Science Biology*のもので、OJS雑誌管理者は、雑誌の設定画面でISSNを入力することができます。

### デジタルオブジェクト識別子（DOI）

ISSNに加えて、あなたの雑誌にデジタルオブジェクト識別子（DOI）を得ることを検討してもよいでしょう。DOIは、図書館や引用インデックス、出版業界があなたの雑誌のコンテンツを発見できるようにするもう一つの標準化されたコードです。しかし、DOIは電子情報だけに適用するものであり、雑誌だけでなく各論文についても一意に識別する点が、ISSNとは異なります。DOIは、たとえサーバを変えても、雑誌名を変えても、OJSから別のシステムに移動させても変わらないので、コンテンツに対する永続的URLを読者に提供することになることに注目することが重要です。永続的URLは、コース管理システムや図書館作成の論文リスト、読者の電子文献リストにおける信頼できるリンクとして重要になるからです。永続的URLの提供は、オンライン環境に伴って変化する

ることによって悪名高い URL リンクに対する DOI の重要な利点です。“10.1371/journal.pbio.0040176”がDOIの例で、これは、雑誌 *Public Library of Science Biology* 掲載の論文 “Open Access Increases Citation Rate” のものです。DOI にプリフィックスとして “dx.doi.org/” を付けると、<http://dx.doi.org/10.1371/journal.pbio.0040176> という永続的 URL が作成されます。この URL をブラウザに入力すれば、いつでも直接この論文にアクセスすることができます。

DOIはISSNほど有名ではありませんが、リンクリゾルバ（引用リンクングや参照リンクングという名でも知られています）などの高度な図書館サービスにおいて次第に使用されるようになっていきます<sup>2</sup>。DOIは年会費を払う必要があることに注意することが重要です。申請は、出版者の非営利的ネットワークである CrossRef (<http://crossref.org>) に行います。ISSN同様、雑誌管理者が雑誌の設定画面でDOIをOJSに入力することができます。また、雑誌のメタデータを定期的にCrossRefに提供したり、論文レベルのDOIの構造を決定したりする必要もあります。詳しくは、CrossRefの出版者向けのサイト (<http://www.crossref.org/02publishers/index.html>) を参照してください。DOIはISSNとは違って不可欠なものではありませんが、永続的リンクングのためにDOIを使用する利益は検討に値します。雑誌の開始にあたってDOIの不採用を決めた場合も、雑誌が軌道に乗ったら、この選択肢を再度検討してください。DOIはあなたのコンテンツを読者につなげるもう一つの強力なツールを提供します。

---

<sup>2</sup> リンクリゾルバは、インデックスが提供する引用情報から引用されているコンテンツのフルテキストへのWebベースのリンクを提供します。

## 維持する：信頼できる継続的なコンテンツを構築する

---

あなたの雑誌が忠実な読者を開拓し、様々なインデックスやデータベースに採録してもらうことに成功したら、この関係を維持できるようにする必要があります。あなたの雑誌の信用を台無しにする最も手っ取り早い方法は、コンテンツが定期的に利用できなくなる、もっとひどいのは、コンテンツが完全になくなってしまうことです。

印刷雑誌では、雑誌の物理的な複製物を数多く作成し、幅広く配布することにより信頼できるアクセスを確保することができます。複製物が1つなくなったり、配置場所を間違えたりしても、別の複製物により容易に置き換えることができます。

オンラインコンテンツでは、インターネット上のすべての読者の間で電子的に共有されているコンテンツの複製物が1つも存在しないという危険性があります。その唯一のコンテンツが失われたら代わりになるものはなく、結果はあなたのプロジェクトにとって壊滅的なものになるでしょう。

### 正しいサーバの発見

安全で信頼できるサーバであなたの雑誌を運用することが、中断のないコンテンツへのアクセスを提供するための第1ステップです。サーバは単なるコンピュータであり、インターネット上でファイルを閲覧できるようにするだけでなく、他人に自分のファイルを見せることもできる（セキュリティの問題が発生）のです。あなたがアクセスするすべての Web サイトは、Web サーバとして稼働しているコンピュータ上に格納（あるいは「ホスト」）されています。あなたが利用できる独自の Web サーバを持っている機関もあるでしょうが、そうでない場合は、商用プロバイダのサービスを検討する必要があるでしょう。高品質の Web サーバを選択することはオンラインジャーナルを構築する際の重要な要素です。したがって、あなたは次のような厳しい質問をする必要があります。

そのサービスは信頼できるものですか。あなたは、あなたのサイトに頻繁に時間を問わず訪れたいと考える読者を持つことになります。良いホストとは、年中無休で1日24時間、99%から99.5%の稼働率を保証できるものでなければな

りません。

速度はもう一つの重要な問題です。そのサービスはインターネットバックボーンへの強力な接続を持っていますか。T3 コネクション（非常に高速）として知られているネットワーク機能を提供できるのが理想的ですが、最低でも T1 コネクション（やや高速）が必要です。

そのホストは、あなたが必要としている Web ベースのソフトウェアをサポートしていますか。OJS は、以下のすべてのソフトウェアが利用できることを必要としています。

- PHP 4.2.x 以上
- MySQL 3.23.23 以上（4.x を含む）または、PostgreSQL 7.1 以上
- Apache 1.3.2x 以上、または、2.0.4x 以上、または、Microsoft IIS 6 以上

また、これらのプログラムの新バージョンがリリースされた場合は、確実にバージョンアップされることを望むことになるでしょう。

そのサービスは、あなたの雑誌のためにサーバ上に十分なスペースを提供していますか。これは現段階では重要でないと思うかもしれませんが、年々PDF 文書が蓄積されるにつれ、あるいは、オーディオファイルやビデオファイルを扱うようになると、保存スペースとして少なくとも1ギガバイトは必要になるでしょう。スペースは多ければ多いほど良いものです。ニーズが拡大した時に増加する格納スペースの経費を調べてみてください。

そのサービスプロバイダは毎日バックアップを行っていますか。あなたのサイトに何か起きたら、問題が発生した以前の状態に復旧できることをあなたは望むことになります。データベースについてもバックアップされていますか。OJS やその他のデータベースを使ったアプリケーションを稼働させている場合は、システム障害が発生した場合にデータベースを確実に復旧できることをあなたは望むことになります。

そのサービスプロバイダは、停電やサーバ故障などのシステム障害に対処するシステムを持っていますか。そのような障害の後、迅速にあなたのサイトをオンラインに戻すことができますか。



技術サポートも検討すべきもう一つの重要な要因です。支援が必要な時に、必要な専門知識を持った人がすぐに用意されますか。今すぐ技術上の質問をして、回答を受け取るまでどれくらい時間がかかるか試してみてください。今現在あなたの質問にすばやく答えることができないようなプロバイダを、システム危機に直面した時にあなたは当てにすることができますか。

最後に、そのプロバイダの現在の顧客リストを調べて何人かに連絡を取り、そのサービスに満足しているかどうかを確認してください。これらはすべて大変な作業と思われるかもしれませんが、ここで誤ると、将来、高くついたり、時間を浪費したりすることになるでしょう。システムダウンの頻発（あるいはコンテンツの永久的な消失!）は、あなたが協力者との間に築いた関係を台無しにしまいます。

### LOCKSS (Lots of Copies Keeps Stuff Safe)

雑誌を安全で信頼できるサーバ上に構築しても、さらに適切な緊急保存戦略を持ちたいとあなたは考えるでしょう。複数の複製物が作成・配布され図書館に保管されている印刷出版物とは異なり、電子ジャーナルは通常、インターネット上の複数の読者にアクセスされる電子ファイルを1つ（または1組）しか作成しません。この1つしかないファイルがシステム障害や人為的ミスで失われ、信頼できるバックアップが存在しない場合は、あなたやあなたの協力者の成果はすべて、永久に消え去ることになります。この潜在的な惨事をオンラインジャーナル出版者が克服できるように、スタンフォード大学はオープンソースのLOCKSS (Lots of Copies Keeps Stuff Safe: 「多くのコピーは物事を安全に保つ」の意) プロジェクトを開発しました。LOCKSSは、情報の保管と保存に関する伝統的な専門家である図書館が管理する地理的に分散した複数のサーバで構成されています。LOCKSSは、サーバのネットワーク上にあなたのコンテンツの複製物が複数存在することを、また、あなたの雑誌の最新コンテンツが専用のWebクローラー（サーチエンジンで使用されているものと同じようなもの）によりすべて収集され、安全に保管されることを保証します。そして、絶えずコンテンツに消失や破損がないかを調べ、必要な修復を行います。このシステムがどのように稼動しているかをさらに詳しく知りたい場合は、LOCKSSのWebサイト (<http://www.lockss.org/>) を参照してください。

OJS を使っている出版者にとっては幸いなことに、OJS は LOCKSS 準拠の機能を

システムに内蔵しています。したがって、あなたの雑誌はこの効果的な保存戦略の利点を容易に享受することができます。設定は、雑誌管理メニュー(“OJS in an Hour”の40ページ、その翻訳版である「1時間でわかるOJS」の38ページを参照)で行います。これはあなたの雑誌を災害から守る簡単な一方策です。

## 結論

---

学術雑誌あるいは科学雑誌を作成し成功させるには、あなたのプロジェクトから展開する共同作業に注意深く目を向ける必要があります。本小冊子では、インデックスサービスやリスティングサービスと共同であなたの雑誌を目立たせる方法、メディアと共同であなたの出版活動をより多くの人々に伝える方法、図書館と共同であなたの雑誌のコンテンツを宣伝し、雑誌の読者をさらに広げるために利用できるツールやサービスを発見する方法について簡単に説明しました。

もちろんこれらすべては、あなたがより多くの読者を発見すること、おそらくより正確に言えば、世界中に広がる干草の山の中にある1本の針のようなあなたをより多くの読者が発見することを支援することを目的としています。あなたを見つけた読者には、あなたのコンテンツを継続してアクセスできることが必要になります。この小冊子の後半では、信頼できるホスティングサービスやLOCKSS 保存システムを使用することにより、あなたの雑誌をオンライン上で存続することの重要性を検討しました。価値あるオープンなオンラインコンテンツを構築することにより、それを容易に「発見できる」ようにすることにより、そして長期にわたって利用できるようにすることにより、あなたは、あなたの読者やその他の協力者が投入した時間や努力に敬意を払うことになり、さらに、あなたのプロジェクトの究極的な成功を確実なものにすることになるのです。

## 参考文献

---

*Bibliography of Empirical Studies on Open Access*. (2006). Wikipedia. Retrieved October 23, 2006, from [http://en.wikipedia.org/wiki/Open\\_access#Bibliography\\_of\\_Empirical\\_Studies\\_on\\_Open\\_Access](http://en.wikipedia.org/wiki/Open_access#Bibliography_of_Empirical_Studies_on_Open_Access)

*Citation Impact*. (2006). Wikipedia. Retrieved October 23, 2006, from [http://en.wikipedia.org/wiki/Citation\\_impact](http://en.wikipedia.org/wiki/Citation_impact)

*Getting Your Journal Indexed*. (n.d.). Scholarly Publishing and Academic Resource Coalition. Retrieved October 23, 2006, from <http://www.arl.org/sparc/resources/ji.html>

*International Standard Serial Number*. (2006). ISSN International Centre. Retrieved October 23, 2006, from <http://www.issn.org/en/node>

*News Release*. (2006). Wikipedia. Retrieved October 23, 2006, from [http://en.wikipedia.org/wiki/News\\_release](http://en.wikipedia.org/wiki/News_release)

*Support for Scholarly Publishers*. (2006). Google Scholar. Retrieved October 23, 2006, from <http://scholar.google.com/intl/en/scholar/publishers.html>

## 付録 A: インデックス採録の基準

---

以下のリストは、選りすぐりのインデックスサービスとリスティングサービスの採録基準へのリンクを提供するものです。その他に利用できるインデックスやデータベースについての情報は所属の図書館にお尋ねください。

### 商用インデックス

**Alternative Press Index — Multidisciplinary**

<http://www.altpress.org/criteria1.html>

**Biosis — Biology**

<http://thomsonscientific.com/support/fag/biosis/#submitjournal>

**CAB Abstracts — Sciences**

<http://www.cabi-publishing.org/AbstractDatabases.asp?>

[SubjectArea=&Subject=&Section=ss&PID=125](http://www.cabi-publishing.org/AbstractDatabases.asp?SubjectArea=&Subject=&Section=ss&PID=125)

**EBSCO — Multiple indexes in a variety of research areas**

<http://www.epnet.com/thisTopic.php?marketID=21&topicID=236>

**EconLit — Economics**

<http://www.econlit.org/corr.html>

**GeoRef — Geography/Earth Sciences**

<http://www.agiweb.org/georef/index.html>

**Institute for Scientific Information — Sciences**

<http://www.scientific.thomson.com/mjl/selection/>

**MLA Bibliography — Language, linguistics, and literature**

[http://www.mla.org/bib\\_inclusion](http://www.mla.org/bib_inclusion)

**Philosopher's Index — Philosophy**

<http://www.philinfo.org/policies.htm#newjournals>

**Proquest — Multiple indexes in a variety of research areas**

<http://www.proquest.com/publisher/pub-partner.shtml>

**PsycInfo — Psychology**

<http://www.apa.org/psycinfo/publishers/journals.html>

**Scopus — Multidisciplinary**

<http://info.scopus.com/etc/suggesttitle/>

## オープンインデックス

### **AgeLine – Gerontology**

<http://www.aarp.org/research/ageline/about.html>

### **Agricola – Agriculture**

<http://www.nal.usda.gov/AGRICOLA/agricolaMail.html>

### **ERIC – Education**

<http://www.eric.ed.gov/ERICWebPortal/resources/html/news/ERIC%20Selection%20Policy.pdf>

### **PubMed Central – Health Sciences**

<http://www.pubmedcentral.nih.gov/about/pubinfo.html>

### **RePEc**

<http://ideas.repec.org/stepbystep.html>

## オープンディレクトリ

### **Directory of Open Access Journals**

<http://www.doaj.org/articles/about#criteria>

### **Librarians Internet Index**

<http://lii.org/cs/lii/create/todo>

### **New Jour**

<http://gort.ucsd.edu/newjour/>

### **Open Directory Project**

<http://dmoz.org/add.html>

### **Open JGate**

<http://www.openj-gate.com/>

### **Yahoo**

<https://ecom.yahoo.com/dir/submit/intro/>

## サーチエンジン

### **Academic Live**

<http://academic.live.com/AcademicPublishers.htm>

### **CiteSeer**

<http://citeseer.ist.psu.edu/submitDocument.html>

### **Google**

[http://www.google.com/intl/en/submit\\_content.html](http://www.google.com/intl/en/submit_content.html)

### **Google Scholar**

<http://scholar.google.com/intl/en/scholar/publishers.html>

### **Scirus**

<http://www.scirus.com/srsapp/submiturl/>

## オープンアーカイブハーベスタ

### **Canadian Association of Research Libraries**

[http://carl-abrc-oai.lib.sfu.ca/service\\_provider.php](http://carl-abrc-oai.lib.sfu.ca/service_provider.php)

### **OAIster**

<http://oaister.umdl.umich.edu/o/oaister/dataproviders.html>

### **PKP Harvester**

<http://pkp.sfu.ca/harvester2/demo/index.php/add>

## 付録 B: プレスリリース例

---

### FOR IMMEDIATE RELEASE

Contact:

Jane A. Smith, PhD  
Editor, New Journal of Chemistry  
123 University Drive  
Vancouver, BC, Canada V7V 7V7  
Phone: 604-987-6543  
<http://www.newchemistryjournal.org>  
[info@newchemistryjournal.org](mailto:info@newchemistryjournal.org)

### Important New Chemistry Journal Launched: New Journal of Chemistry

Vancouver, BC . September 12, 2007 --Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Nam tincidunt. Quisque a neque. Cum sociis natoque penatibus et magnis dis parturient montes, nascetur ridiculus mus. Integer laoreet elit nec lorem. Cum sociis natoque penatibus et magnis dis parturient montes, nascetur ridiculus mus. Vestibulum ac dolor.

Sed vitae tellus nec sapien malesuada mattis. Etiam molestie laoreet enim. Vestibulum tempus pretium tellus. Sed mauris. Morbi urna. Quisque varius risus in dolor. Fusce bibendum sagittis risus. Proin sapien erat, iaculis nec, lobortis vitae, ultricies nec, orci. Vivamus auctor adipiscing lectus. Nulla pulvinar feugiat risus. Nullam et massa non purus eleifend lobortis.

Integer et libero a purus volutpat cursus. Nullam ut eros sit amet felis rhoncus condimentum. Integer fermentum ligula. Sed mauris libero, varius rhoncus, vehicula nec, vestibulum vel, mauris. In hendrerit. Etiam id justo at leo fringilla fermentum. Etiam ullamcorper, nibh et varius cursus, tellus massa eleifend lectus, et consectetur lorem pede eget purus.

For information: <http://www.newchemistryjournal.org>

Contact: [info@newchemistryjournal.org](mailto:info@newchemistryjournal.org)

Phone: 604-987-5432